

先週、先々週と「おいくら」に注目して「坪単価」と「床面積・施工面積」の真実をお話しさせていただきました。

今回は自分が本当に経験した「おいくら」に関わる**実話**をコソッとお話ししますね。
自分、15年前は、今の水曜日休みでなく、日曜日お休みをいただいております。
その当時は、今のように受注も順調でなく、どうしたらもっとお客様に指示される住まい創りができるか模索する日々・・・

「そうだ、他社の現場を見に行けばヒントがあるはず！」

と休日の度に、他社の完成見学会に足を運んでおりました。
その当時の北信地区でメーカーから工務店、設計事務所まで見ていない家は、ないと自負できるほど廻りました。
その中の1件、中野市のお宅でした。
家の中をぐるっと見学。

案内いただいたイケメンスタッフの方は、「**45坪の家です！**」と言うんです。

自分も若かったですが、住まい創りのプロです。

「そんなに大きくないよな。」と感じていました。

玄関の下駄箱の上にそのお宅の間取り図が置いてあり、見てみるとそこには、

「**床面積 38坪**」の他に「**施工面積 45坪**」と表記されていました。

「ああ、これが噂に聞いていた面積をふかすという事か」と
現実を見させてもらいました。

「**大きい家に見せる**」

「**坪単価を安く見せる**」

という事なんでしょうね。

その建築屋さんは、けっこうな大手ビルダーでしたが、倒産してしまいました。
創られたお客様がかわいそうですね。

さてもう一つは、**当社のお客様からの強烈な一言！**

これまた 15 年ぐらい前の話です。

当社で設計し、**詳細積算（見積）書**をご提示して、説明し終えてから、お客様から

「これって網戸入っていますか？」（お客様）

「へっ！？」（今井）

「網戸は、サッシュが付きますから普通、何も言わなくても付きますが・・・」（今井）

「いや、ちょっと前に大手さんで見積もり出してもらったら、**網戸別なんですよ。ちょっと心配になりましたて。**」（お客様）

「そうか！これが住めない家の値段なんだ!!」と
気づかせていただきました。

「網戸なくてもサッシュさえあれば、住めるでしょ！」と
言うのが、その大手さんの考え方なんでしょうね。

自分には、さっぱりわかりませんが・・・

正直な仕事をしている工務店は、いっぱいあるんです。
ぜひ、こんな実体験も参考にしてみてください！

今年は、本日にて仕事納めとなります。

こんなつぶやきにお付き合いいただき、ありがとうございます。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役 今井昌毅